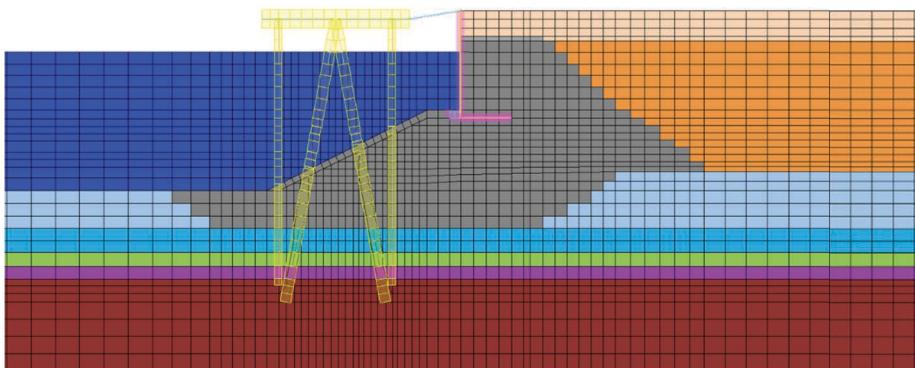
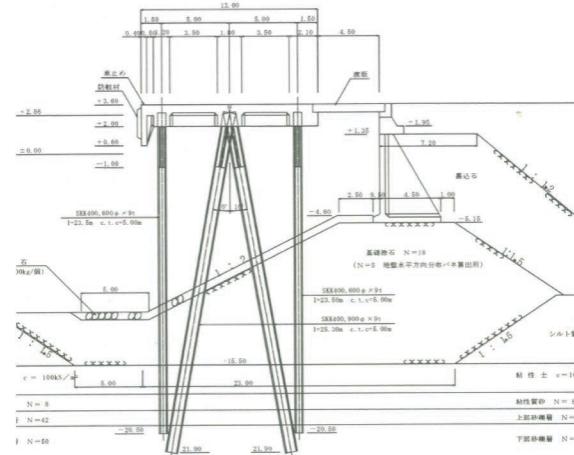


- レベル2地震動に対して、動的解析を用いて、桟橋の変形量と杭の損傷状態の照査

## → 検討断面と解析モデル

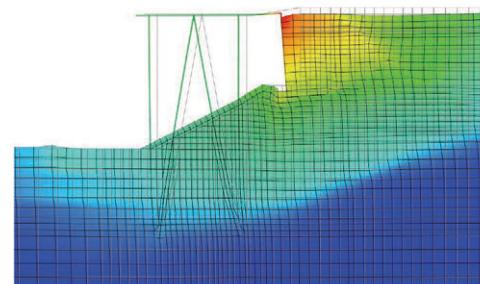


## 有限要素分割(主要部)

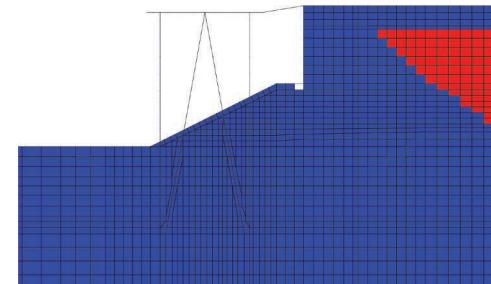
## 解析結果

桟橋床版部  
水平変位 : 0.91m  
鉛直変位 : 0.14m

L型ブロック天端  
水平変位：2.18m  
鉛直変位：0.61m

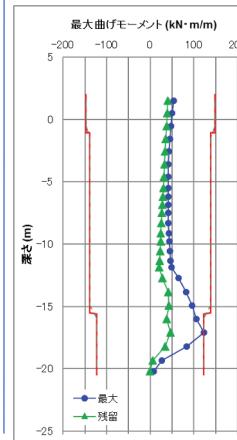


## 残留変形図(主要部)

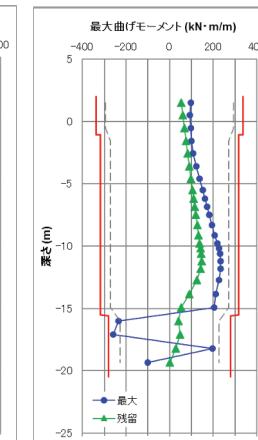


### 過剰間隙水圧比分布図(主要部)

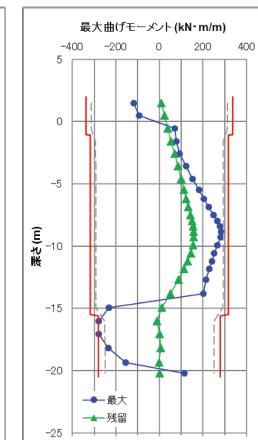
海側直杭



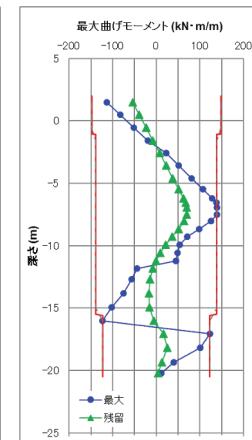
海側斜杭



陸側斜杭



陸側直杭

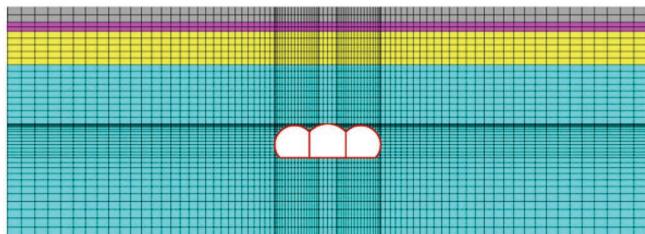


曲げモーメント分布図

## [概要]

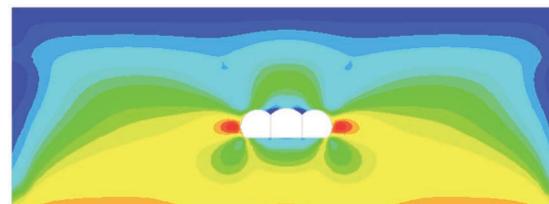
複素応答解析法：周波数領域解析であり、地盤の非線形を等価線形化技法を利用してFEM耐震解析方法で、地盤や構造物の相互作用を考慮した耐震解析を実施

### → 解析モデル 1

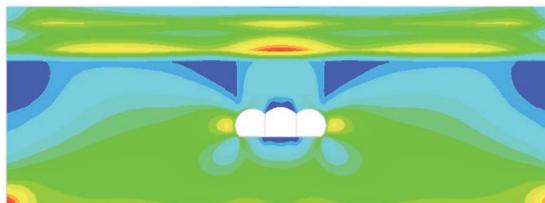


- ・伝達境界を利用した地盤の半無限性考慮
- ・地盤の非線形を等価線形で考慮
- ・様々な地中構造物適用可能  
(トンネル,上下水道, 地下鉄停車場)

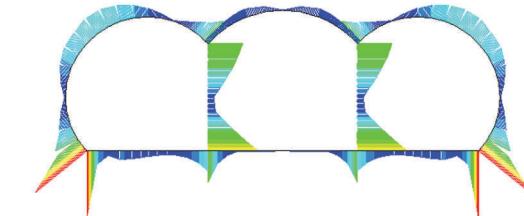
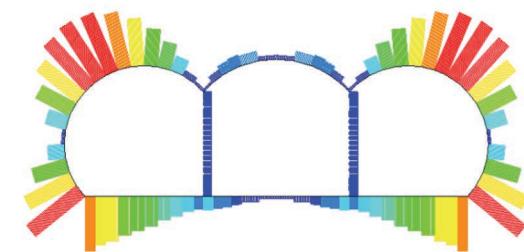
### → 地盤せん断応力図



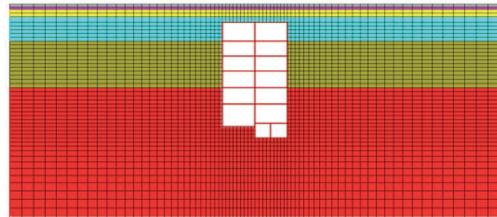
### → 地盤最大せん断変形率



### → 構造物断面力図



### → 解析モデル 2



### → 全体変位図



### → 地盤最大せん断変形率

